



## 問 子ども医療費の無償化はできないか

答 無償化によるメリット・デメリットを精査し、慎重に検討

自治体が行う医療費助成により減額調整がされてきた国民健康保険の国庫負担金が、今年度から、こども医療費助成については減額調整措置が撤廃されたが。

問 こども医療費の無償化はできないか。

町長 無償化した場合の過剰診療につながる可能性があるデメリットと、子育て世帯の経済的負担が減るメリットをよく精査し、慎重に検討していきたいと考えています。

近隣市町において、物価高騰による子育て世帯の経済的負担を軽減するため、学校給食費を無償化しているが。

問 学校給食費の無償化の考えは。

教育次長 国が示した「こども未来戦略方針」では、「小中学校の給食実施状況の違いや法制面なども含め、課題の

整理を丁寧に行い、具体的方策を検討する」とされています。町としては、国の動向にも注視しつつ、引き続き、学校給食の無償化に向けて検討していきます。

「消滅可能性自治体」から脱却するために、子育て世帯の定住が不可欠であるが。

問 定住を推進するための考え・施策は。

まちづくり戦略課長 昨年度、支援策第1弾として「保育料の無償化」を実施しました。今年度から「こども未来グループ」を健康福祉課内に設置し体制を強化するとともに「ごかつ子クラブ」の運営を開始しました。さらに、インフルエンザ、おたふくかぜ予防接種の無料化の実施、安心して子育てできる住環境整備を促進するため、地域優良賃貸住宅の整備などを進めています。今後は、移住希望者のニーズに沿った相談対応や移

住実現に向けたサポートを行うなど、実効性のある移住・定住に結びつく施策に全力で取り組んでいきます。



## ごかつ子クラブ

放課後に、保護者が仕事などで家庭にいない児童に対し、支援員による学習のサポートや遊びの場の提供を行っています。

- 対象：小学校5、6年生（事前登録制）
- 場所：ごか西児童館
- 時間：平日17:00～19:00
- 料金：2,000円/月

## 問 がん患者以外の方にも医療用ウィッグ等の購入費用の助成ができないか

答 現時点で町単独での助成事業は考えていない

茨城県では、がん患者に対してウィッグ・乳房補整具の購入費の助成をしているが、がん以外の病気で脱毛症など、外見の変化で苦しんでいる方がいるが。

問 がん患者以外の方に医療用ウィッグなどの購入費の助成ができないか。

健康福祉課長 近隣の市町村では、費用の助成を行っている状況にあり、現時点で町

単独での助成事業は考えていませんが、今後、国・県及び他自治体の動向を注視してまいります。